

Powerbook G3 (Wallstreet ・ 1998) 分解マニュアル

【交換に必要な工具】

プラスドライバー、時計ドライバー(-)、T8トルクスドライバー



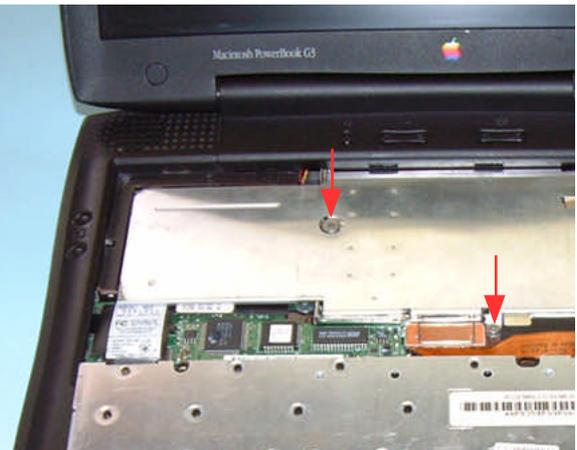
左右の拡張ベイから、メインバッテリーとドライブをはずす



左右の拡張ベイに指を入れ、キーボードのロックレバーを手前にスライドさせる



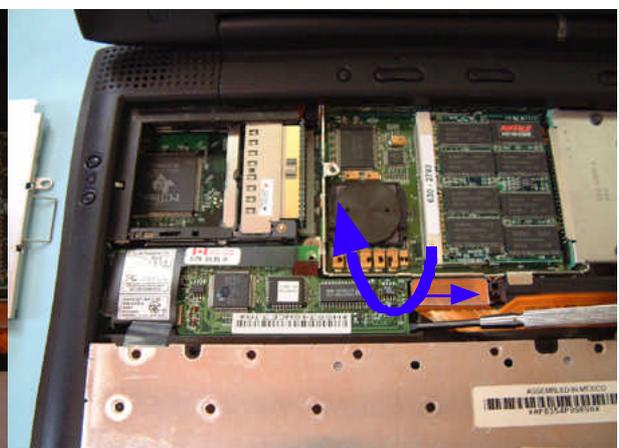
キーボード手前を持ち上げて全体を手前側に倒し、左右をセロテープで固定する



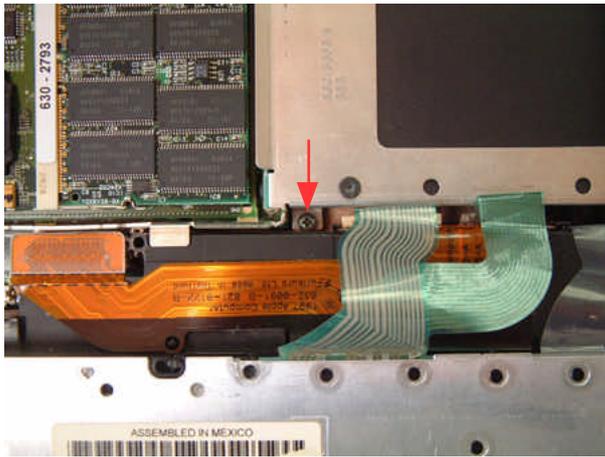
金属カバーの長短2本のビスを外す



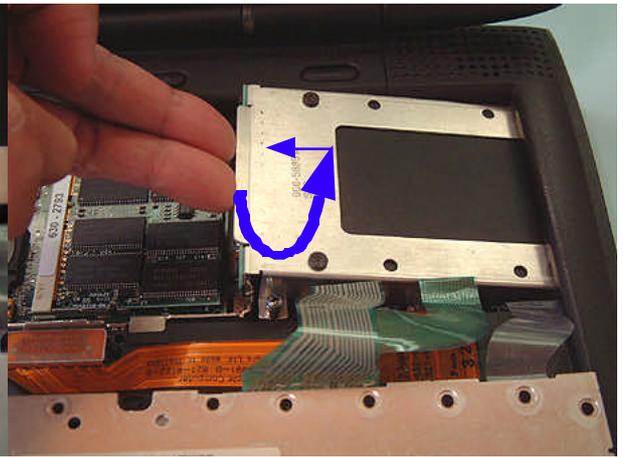
金属カバーを取っ手を持って外し、モデムユニットの固定ネジをはずす



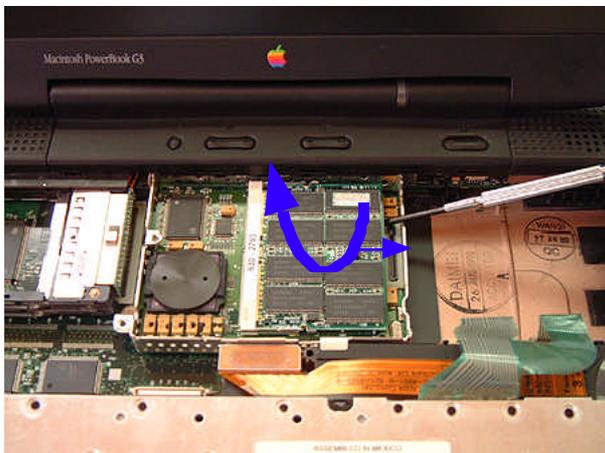
モデムユニットの右側をマイナスドライバーで持ち上げて、ユニットを右側に抜く



HDDユニットの固定ネジをゆるめる



HDDユニットの左端（CPUとの連結部）を持ち上げ、左方向に抜く



ドータ（CPU）ボードの右端のすき間にマイナスドライバを差込んで持ち上げ、コネクタが上下に外れたら、右方向に抜く



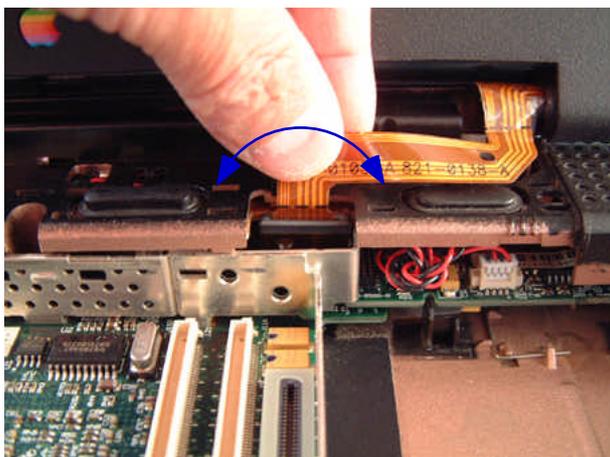
液晶パネルをいっぱいまで後方に倒す



ヒンジカバーの右側を2本の指でつかみ、親指でめくりあげる。（ロックが外れる感触がある）そのまま、左方向に連続してめくってゆく。（かなり固いが、力を入れて外す）



液晶パネルのコネクタ（左）のプラスチック部分を、マイナスドライバで前後させコネクタをゆるめて引き抜く



液晶パネルのコネクタ（右）のフィルム部分を持ち、左右に振りながらコネクタを真上方向に抜きます



液晶パネルを垂直位置まで起こします



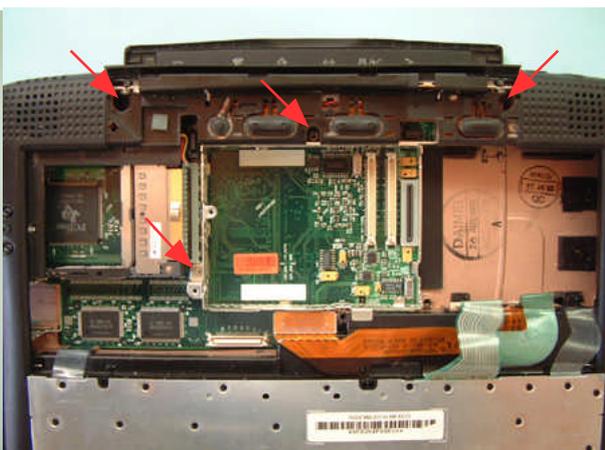
本体背面の液晶パネルを固定している4本のネジを外します



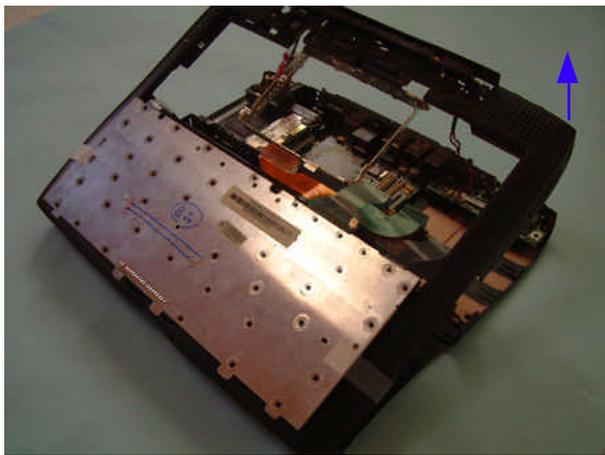
液晶パネルを垂直に引き上げて本体から抜き出します



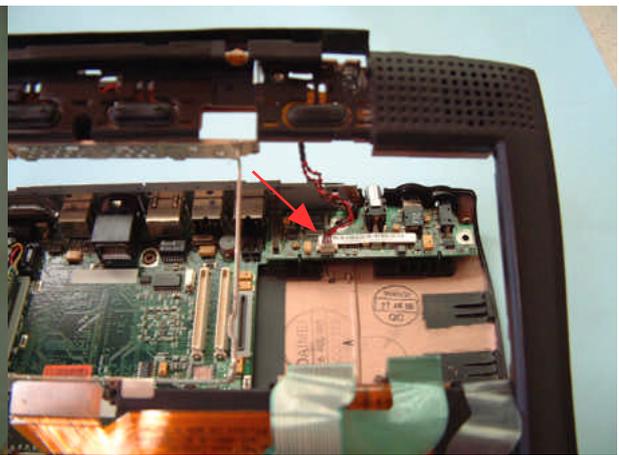
本体底面の8本のネジ（長2本、短6本）を外します。



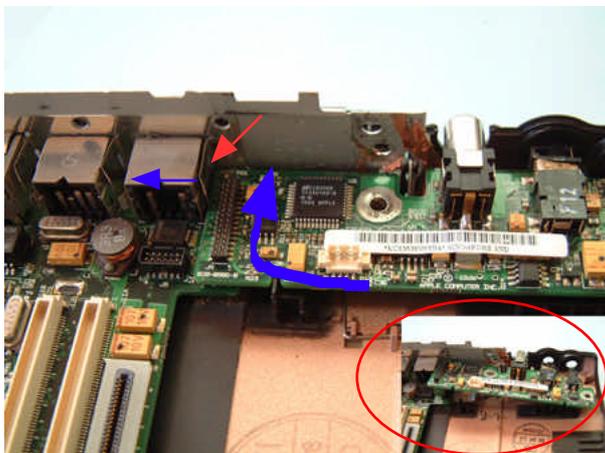
上面カバーと底面カバーをつないでいる4本のネジをはずします



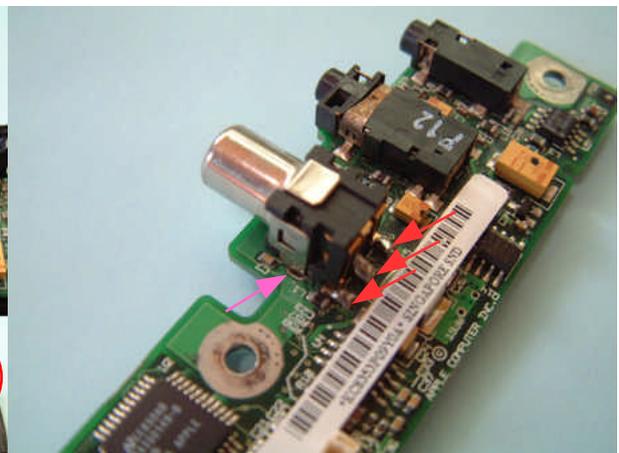
本体後方側からカバーを上下に分割します
(手前はまだかみ合わさったままです)



電源コネクタ基板のコネクタをはずしません



ADBポートの側面にある押さえ金板を左方向に押しながら、電源コネクタ基板を左側からめくり上げます(右下写真)



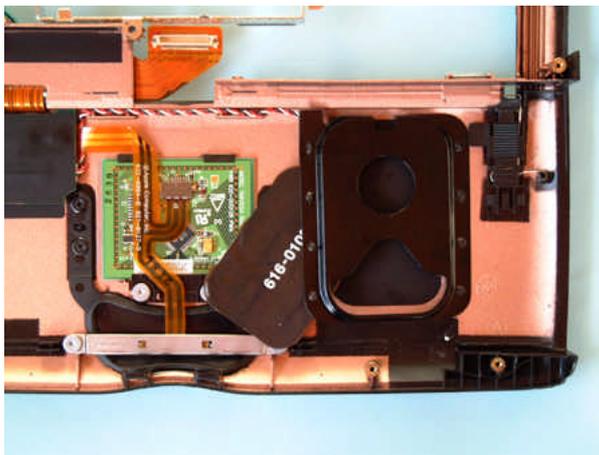
DCソケットの付け根に強い力が加わって、ハンダにヒビが入って電源が供給されないことがある(再ハンダ付け後にピンク部分を強力接着剤で固定するとよい)



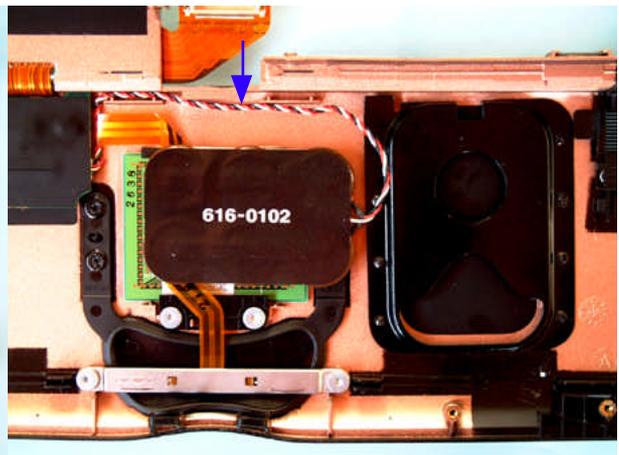
本体上面カバーの裏側



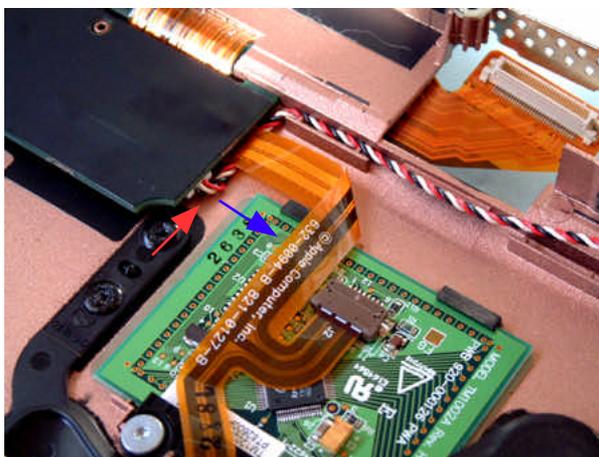
矢印の5ヶ所にカッターナイフを差込み、熱接合部分を、周囲を傷つけないよう慎重に分断します



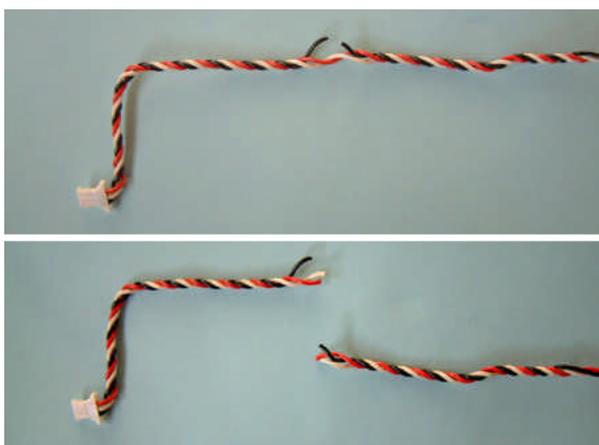
内蔵電池を抜き出します



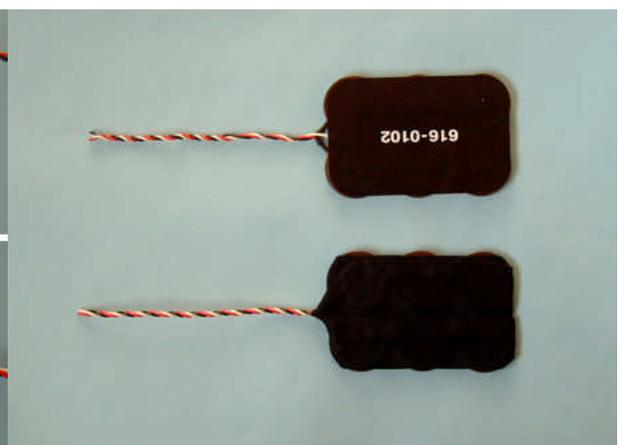
電池交換の際は、このあたりでケーブルを切断します



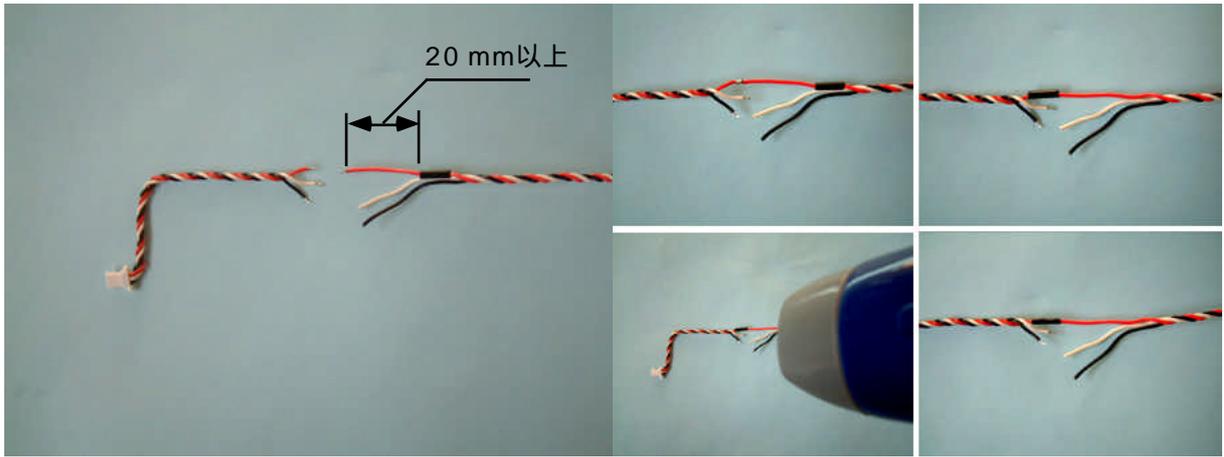
リード線を持って、電池ユニットのコネクタを抜きます



リード線は1本ずつニッパーで切断します
一度に切ると、ニッパーの刃でショートするおそれがあります

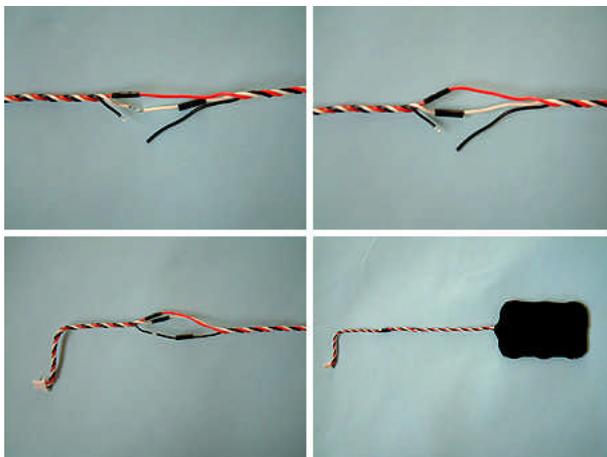


リード線の長さは、古い電池よりもハンダ付けの分だけ5ミリ程度長くします

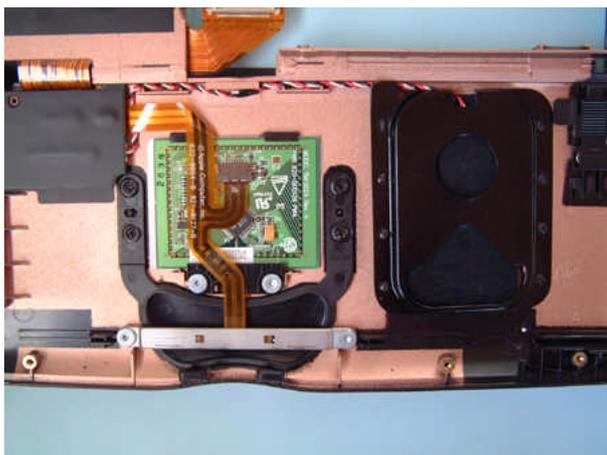


コネクタ側を3本とも被覆をむいてハンダメッキし、電池側の赤に熱収縮チューブを通します。チューブは端から20mm以上離します

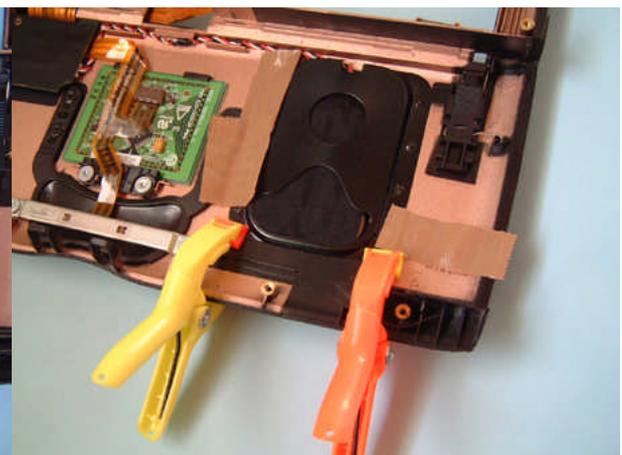
(左上) 赤を被覆をむいてハンダ付け
(右上) 熱収縮チューブをかぶせる
(左下) チューブにドライヤを左方向から当てる
(右下) チューブが収縮したら赤の完成



(左上) 白に熱収縮チューブを通してハンダ付け
(右上) 熱収縮チューブをかぶせてドライヤ処理
(左下) 黒もハンダ付けして同じくドライヤ処理
(右下) 3本のリード線をよじって完成



完成した電池を装着します



カッターでスライスした電池カバーを接着剤で接着します。乾くまでクランプやガムテープで保持します。(完了)

本マニュアルは、Powerbook G3(Wallstreet・1998)のPRAM内蔵電池交換を目的とした分解マニュアルです。電池交換に関係のない箇所の分解については記述しておりません。本マニュアルの記載内容については、明示の有無にかかわらず、一切の責任を負いません。 2005.12.5